

学校だより 熱 砂

<発行>
令和2年7月15日
発行責任者：校長
和田 政男

学校再開に向けて安全対策をKHDAに提出

2学期からの学校再開に向けて、7/5に118項目に及ぶ学校再開に向けてのプロトコルがKHDAより届きました。本校では、これに沿った安全対策を策定し、7/9にKHDAに提出いたしました。今回のおたよりでは、その安全対策の大きな内容をお知らせいたします。

年間計画通り8/24に始業式を行い、2学期をスタートする計画で、学校再開の許可が出るまではオンライン授業の継続、許可が出次第登校が開始となります。学校再開に向けた安全対策について、やや具体的にお伝えしたいと思います。ただし、猛暑の中での検温など、実際に行ってみなくては不明な点も多いため、不具合は随時修正しながら運営していくことを予めお含みおきください。

分散登校について

当初示されたプロトコルが変わり、

- ・スクールバスは乗車定員の50%以内
- ・教室内の社会的距離は1.5m以上

となりました。当初は体育館を教室代わりに使うことも考えておりましたが、通常の教室を使用することができます。

しかし、スクールバスの制約、トイレや手洗いの社会的距離の保持、共有スペースの社会的距離は2m以上等の制約から、分散登校にならざるを得ません。

現在の想定では、AグループとBグループの二つに分け（グループ分けは現在検討中ですが、学級を分けることはしません）、1週間交代で登校と、在宅オンライン学習を交互に行うことを考えております。

G9については、受験生であることと、受験のために12月ぐらいから帰国する生徒がいることを考慮し、毎日の登校を考えております。

送迎、マスク、替えTシャツ、水筒の準備

- ・送迎の大人は一家庭で一人、との制限があります。
- ・送迎の方を含め、全員がマスクを着用します。
- ・児童・生徒には予備のマスクも持たせてください。
- ・万が一体調不良等で衣服を汚した場合に備え、着替えTシャツを用意していただきます。
- ・ウォーター・ディスペンサーの使用が禁じられています。水筒の準備をお願いいたします。水筒の水だけでは足りないと思いますので、学校では、ペットボトル入りの水の配布を考えています。

検温、消毒について

・朝、家庭において検温し、平熱の値や本人の体調等を考慮しつつ、目安として37.5℃以上の場合、登

校を見合わせるようお願いいたします。

- ・スクールバス乗車時、非接触型の体温計で検温いたします。37.5℃以上であると乗車できません。
- ・登校時、校舎入り口でサーモグラフィによる検温を行います。37.5℃以上であると校舎に入れません。別室で休ませ、ご連絡いたしますので、お迎えに来ていただきます。
- ・入り口での検温後、持ち物、靴の消毒を行い、その後、教室に入ります。（消毒液は人体に無害なものを使用します）
- ・教室および校内の数カ所には手指洗浄液を入れたディスペンサーを設置します。

手洗い・トイレ

- ・登校後、ドバイタイム、昼食前に手洗いタイムを設定します。また、全員が一度に手洗い場、トイレに殺到しないように、休憩時間を長めにとり、時間差で利用するようにします。
- ・トイレ、手洗い場は使用毎（1回/1時間）に消毒を行います。
- ・手洗い場にはペーパータオルを設置しますが、基本は個々がハンカチを持参します。

学校における消毒作業

- ・DHA（ドバイ保健局）が指定する消毒業者と契約し、学校再開直前、その後定期的に全校の消毒作業を行います。
- ・スクールバスは、朝、夕と児童・生徒が下車後にバスアテンダントが消毒作業を行います。
- ・教室は、担任が生徒下校後に消毒作業を行います。
- ・特別教室は生徒使用の都度、消毒を行います。

（※ 以下、次号に続く）

※ 2学期の登校再開について、KHDAより回答があり次第、お知らせいたします。夏休み中にもお便りが届くことご承知おきください。